

好評発売中
650円

この国の政治を変え
希望ある未来へ
— 本田由紀さんと志位委員長の新春対談ほか —

転作補助金の切り下げでコメづくり困難

大きい農家ほど補助金カットの影響が大きい

日隈市議は3月8日、転作補助金カットでコメづくりの継続と水田維持が困難になっている」と指摘。農林振興部長は、水田活用の直接支払交付金の見直しと影響額を答えました。

からの継続分は10ア当たり1万2千円から6千円と半額になる」と説明しました

農林業センサスによると、日田市には10〜20アが7経営体、20〜30アが2経営体、30〜50アが2経営体、50〜100アが1経営体あります。日隈市議は「経営規模の大きい農家の影響額をつかんでいるか」と質問。農林振興部長は「数字としては、先ほど説明したとおり」と答え、補助金カットの影響を大きく受ける農家の状況は把握していません。

日隈市議は「農水省は国会で、田村貴昭・衆院議員の質問に、今後、地域の状況を見て検討すると答えている。市は、経営規模の大きい農家の実情をつかんで、国に対策を求めるべきではないか」と追及しました。

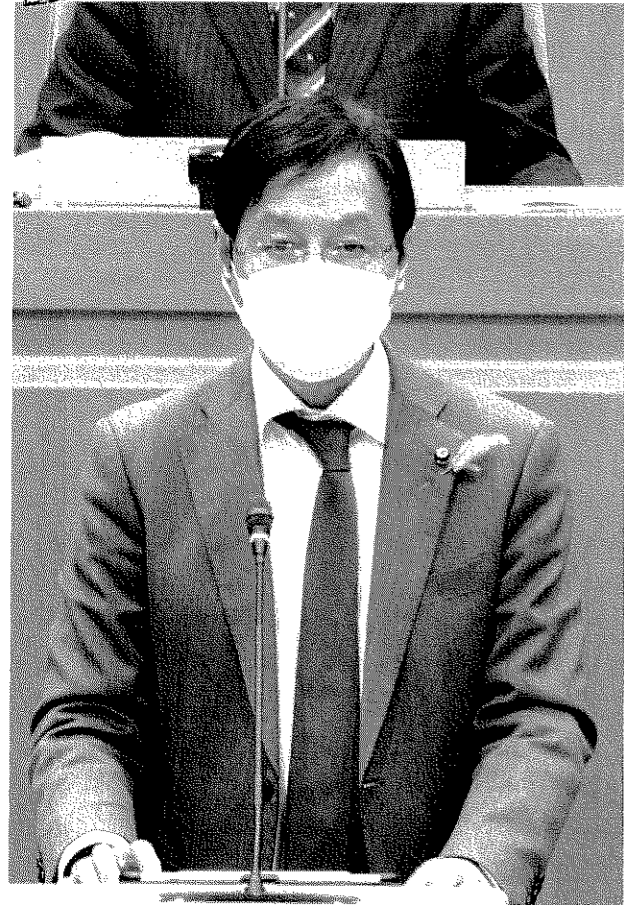
水田活用の直接支払交付金の見直しと影響額

① 今後5年間、一度も水張りしない水田は交付金の対象にならない。	▲ 約3,000万円
② 多年生牧草は、種まきから収穫まで行う年は今まで通り10ア当たり3万5,000円。しかし、収穫のみ行う年は1万円に減額。	▲ 約65万円
③ 飼料用米の複数年契約は、22年産から加算措置の対象外。ただし20、21年産の契約分は10ア当たり6,000円加算に半額。	▲ 約39万円

日隈市議は「今後5年間で一度も水張りしない田んぼは、水田活用の直接支払交付金がもらえなくなる。どれだけの影響があるか」と質問。農林振興部長は「あくまでも仮定の話しになるが、約3千万円の減額が想定される」と答えました(上の表)。また、農林振興部長は「多年生牧草の作付けは3万5千円が交付されていた。今後は、種まきから収穫まで行う年は同じ交付額だが、収穫のみ行う年は1万円しか交付されない。飼料用米などの複数年契約が、令和4年度から加算措置がなくなる。なお、令和2年および令和3年

障がい者の移動の自由を奪う

日隈市議
一般質問



▲ 市長にJR九州の駅無人化計画に対する考えを質問する日隈市議。

JR九州の天ヶ瀬駅無人化計画をただす

日隈市議は3月8日、「JR九州が6県29駅を無人化する計画は、障がい者の移動の自由を奪う」と指摘。市長は「安全・安心にJR九州がどこまで責任をもつか大きな課題」と答えました。

日隈市議は、駅の無人化で大きな影響を受ける障がい者が、大分県や長崎県でJR九州に改善や損害賠償を求めていることを紹介。

市長の考えを聞きました。

市長は「駅利用者の安全・安心に(JR九州が)どこまで責任をもつか大きな課題。線路に向かったの柵、自動扉がついているのは新幹線ぐらいしかない。何も無い中で転落したり、コンコースがゆがんでいて誤って線路に落ちたりしないようにしなければいけない」と答えました。

長崎の障がい者は、JR九州に対し「豪華な観光列車や長崎新幹線に使うお金がある。無人駅にするなら、きちんとバリアフリーにしてほしい」と訴えています。日隈市議は「JR九州に今後のバリアフリー対策を聞くべきではないか」と質問。市長は「確認したい」と答えました。